日本原子力学会 社会・環境部会主催公開シンポジウム

規制と科学のあいだに・・・

Regulatory Science in Complex Society

2012年9月に原子力規制委員会が発足して約1年が経過しました。
かねて指摘されてきた原子力安全規制の法制度上の問題点の解消が図られるとともに、従来以上に厳格な安全規制への取り組みが重ねられてきました。
その一方で、被規制者である事業者との間のコミュニケーションの円滑さが疑われるような事態も見受けられ、厳格かつ円滑な規制の実現にはまだ課題も残っていることもまた事実です。
本シンポジウムでは、こうした原子力安全規制の課題のうち、特に「規制と科学のあいだ」で発生する諸課題に焦点を当てます。
原子力分野に限らず、規制上の判断をめぐっては、異なる科学的な見解の間の論争として描写され、どちらに妥当性の軍配が上がるかという議論が繰り広げられがちです。
しかし、科学技術のガバナンスを研究する学術的諸分野の知見から眺めると、この問題はむしろ科学技術とリスクに関する社会的意思決定の根本的な難しさに関わることがわかります。
今回は関係するさまざまな分野から学際的な顔ぶれを招いてこの問題を掘り下げたいと考えています。ふるってご参加ください。

－開催概要－

日時　平成25年10月3日（木）　13時30分－17時30分

会場　東京電機大学 東京千住キャンパス 丹羽ホール
（足立区千住旭町5番／北千住駅東口（電大口）から徒歩1分）

参加費　無料

プログラム

開場　13時00分
開会　13時30分
第１部　講演　田邉 朋行　電力中央研究所社会経済研究所 副研究参事
麗澤大学企業倫理研究センター 客員研究員
（原子力法、企業倫理）
山口 彰　大阪大学大学院工学研究科 教授
（原子炉工学、安全工学、計算科学）
神里 達博　大阪大学コミュニケーションデザインセンター
特任准教授（科学史、科学論）
諸葛 宗男　東京大学公共政策大学院 元特任教授
本部会 部会長（原子力安全規制法制）
休　憩
第２部　パネルディスカッション
モデレーター　寿楽浩太（東京電機大学未来科学部 助教）
パネリスト　第１部講演者

お問合せ先／東京電機大学未来科学部 寿楽（juraku@mail.dendai.ac.jp）